

## 丹波地方 3校合同ボランティア活動報告

平成26年10月27日(月)

生徒指導部

前回に引き続き、県西宮・西宮北・本校の有志55名で3校合同ボランティアに参加しました。

今回は丹波市市島町上鴨阪<sup>かみかみさか</sup>の鶏舎2棟周辺を中心に活動しました。鶏舎の周りには、粘土質の泥が5~10cm程流れ込み、被害の大きさを感じました。当日の主な活動としては、鶏舎の周囲に溜まった泥を取り除き、埋まってしまった水路をもう一度形成させるというものでした。シャベルや鍬、一輪車を利用し、現地の市職員の方々の力をお借りしながら、前回よりも重労働で時間のかかる作業でした。



生徒たちの表情を見ていると、朝が早く、重労働で少し疲れているような感じではありましたが、作業をやり遂げるという強い気持ちのもとでよく頑張って作業をしていました。作業終了後は市の職員や所有者の方から「ありがとう」とお声かけしていただき、多くの生徒が達成感を得ることができました。

バスに乗り込む前に鶏舎を管理する男性にお話を伺ったところ、今回の台風で、鶏舎で管理していたニワトリの3分の1が死んでしまい、残りは別の業者に委託せざるをえない状況となってしまったようです。地区の北側に位置する水田地帯は壊滅的な被害を受け、電気・ガス・水道などのライフラインは被害に遭った数週間後にしか復旧しなかったと伺いました。“他人事”と思っていたが、まさか自分たちが被害に遭うと思わなかったと、涙を流しながら生徒にも貴重なお話をいただきました。



今回のボランティアを通して、自然災害の恐ろしさはもちろん、地元の方々が失ったものは非常に大きかったと思いました。また、人とのふれあいの中で、普段の生活では味わうことのできない「人のあたたかさ」「生命力」を感じることができた活動でした。

朝早くからお見送りして下さった先生方をはじめ、たくさんの先生方にお声かけいただき、良い経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

